

独立行政法人 経済産業研究所 (RIETI)



BBLセミナー プレゼンテーション資料

2014年7月2日

「今後50年の世界経済展望：
政策転換の時」

玉木 林太郎

<http://www.rieti.go.jp/jp/index.html>



OECD 50年 グローバル シナリオ

今後50年間の政策課題

玉木林太郎
OECD事務次長・チーフエコノミスト

東京、2014年7月2日



今後50年の政策課題

OECDは2060年に100周年を迎える。

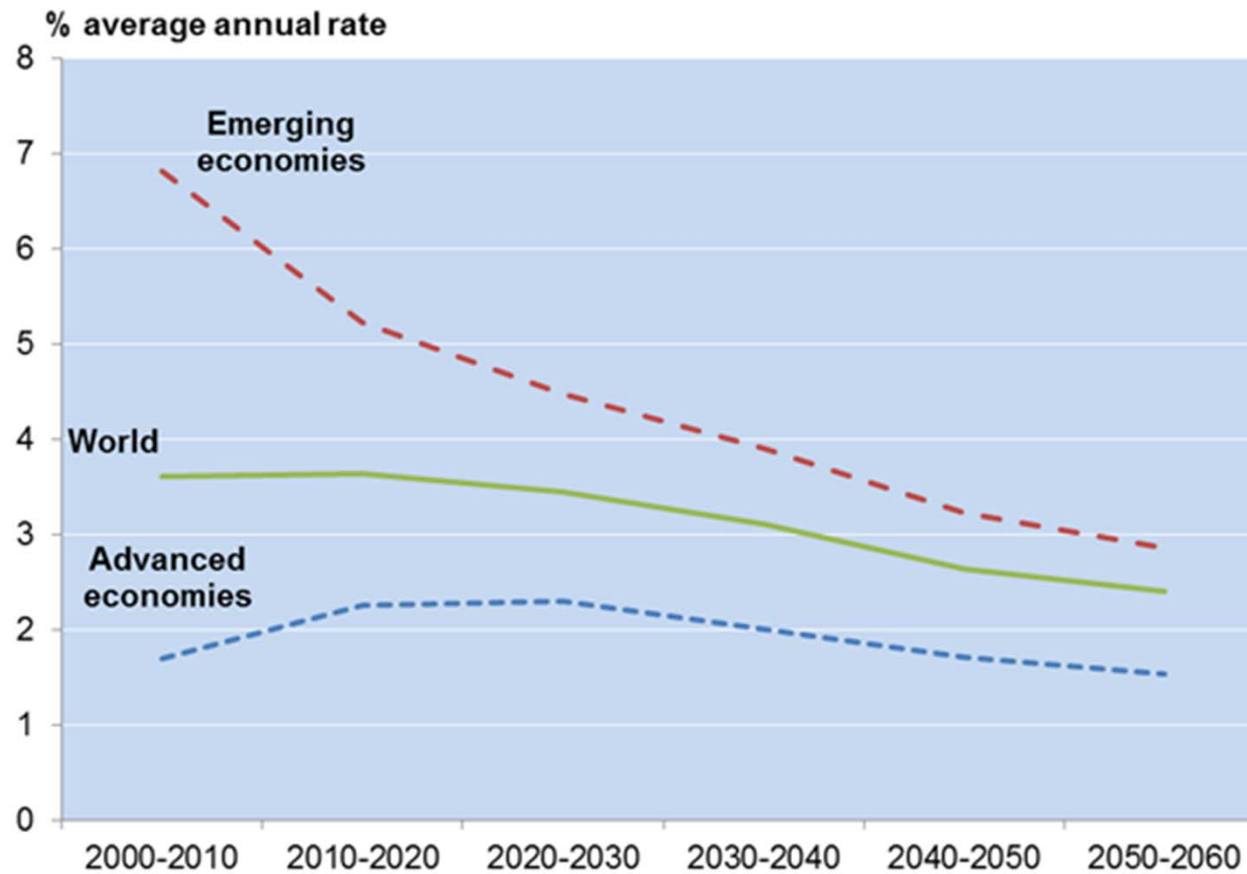
これから50年間の政策課題はどのようなであろう？

「OECD 50年 グローバル シナリオ」は世界の主な政策課題と、それらの相互関連性を明らかにする



世界の経済成長は鈍化する

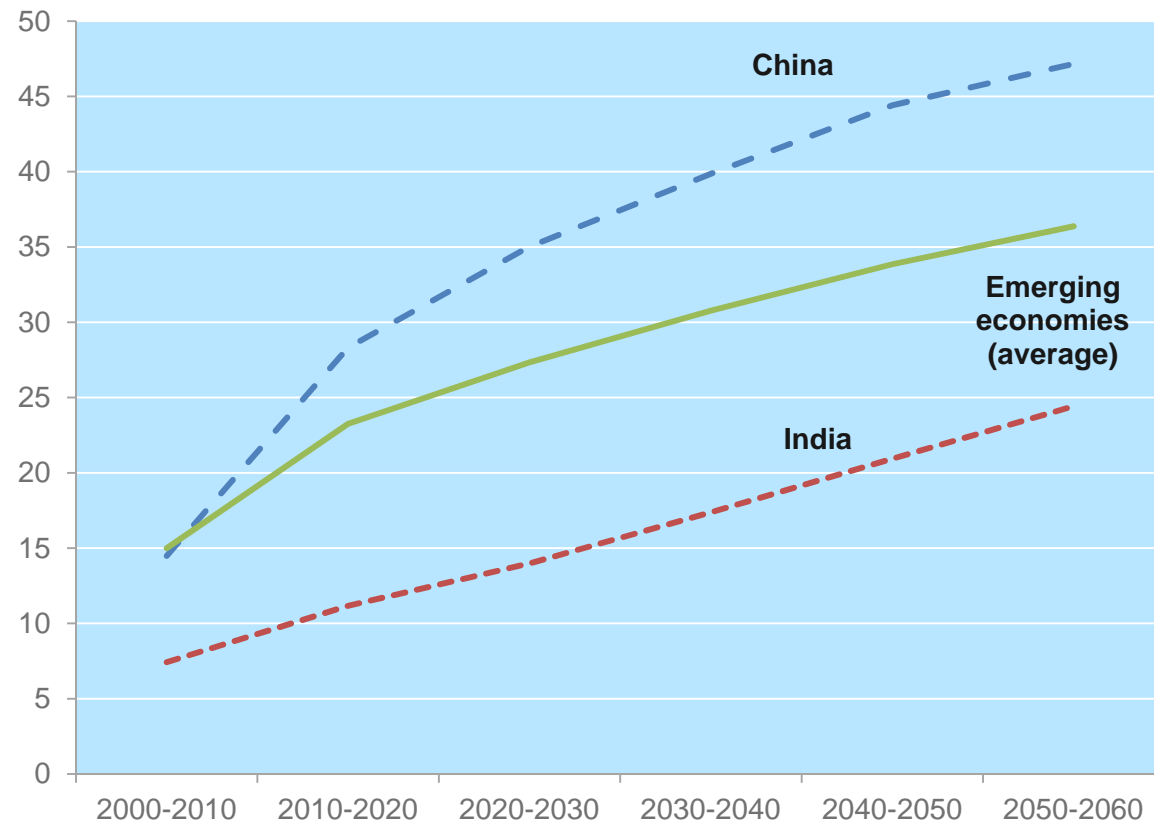
GDP 成長率





所得は増加するが、格差は残るだろう

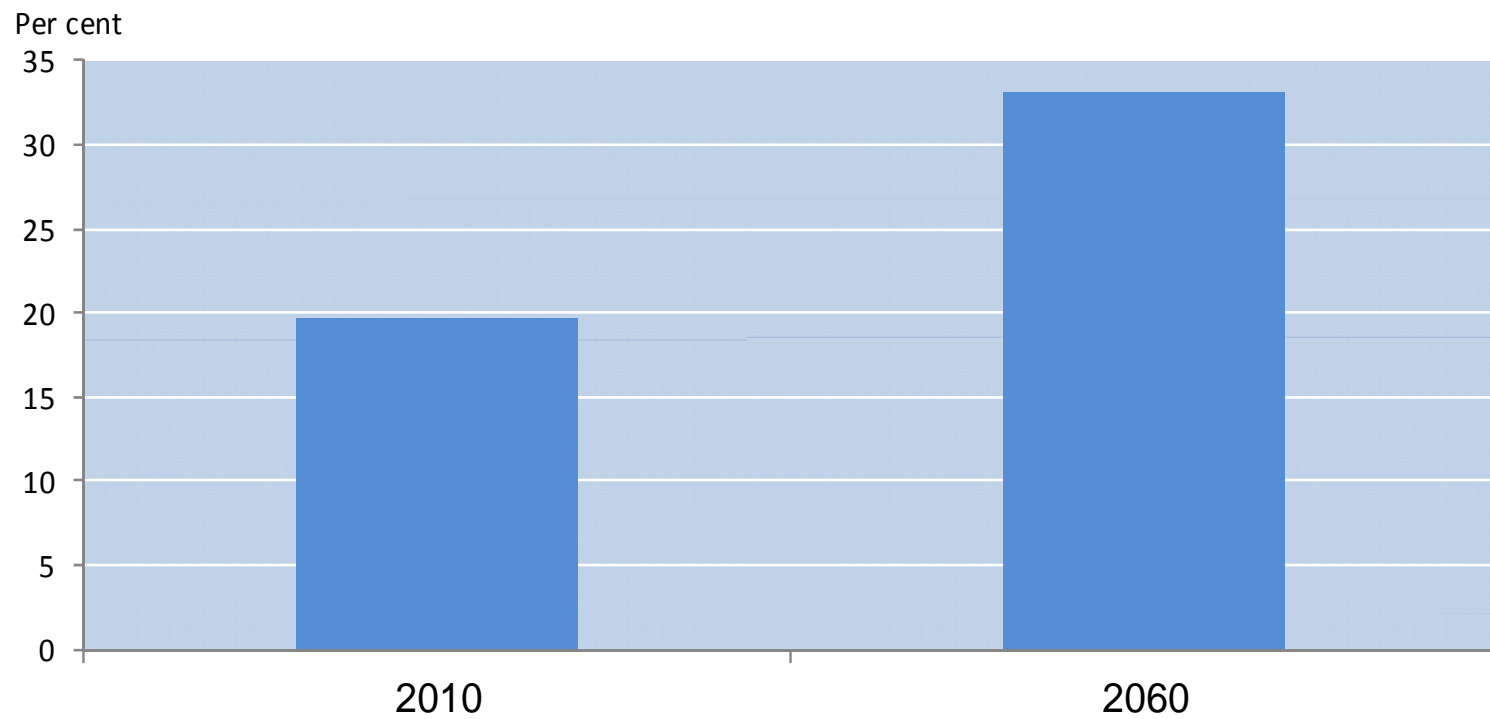
一人当たりGDPの推移 : OECD加盟国平均一人当たりGDPに対する比率





世界経済は相互依存性を高め...

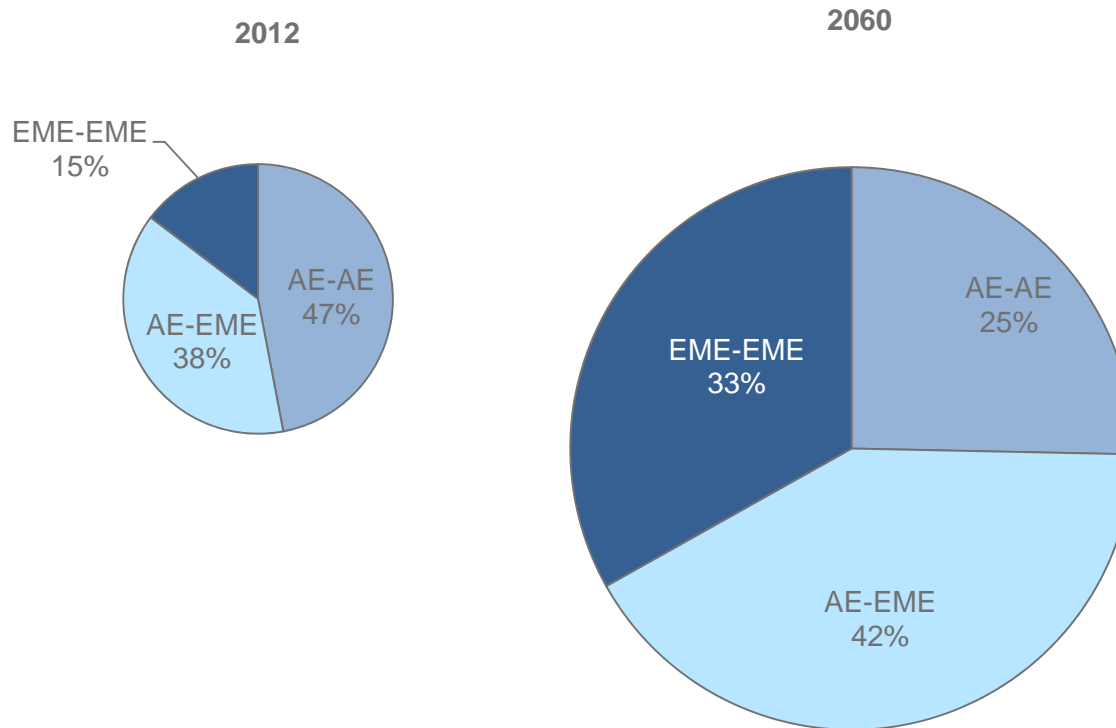
世界の **GDP** に占める輸出の割合





...貿易は新興諸国、とりわけアジアへ 移行するに伴い、多極化する

世界貿易の規模とシェア

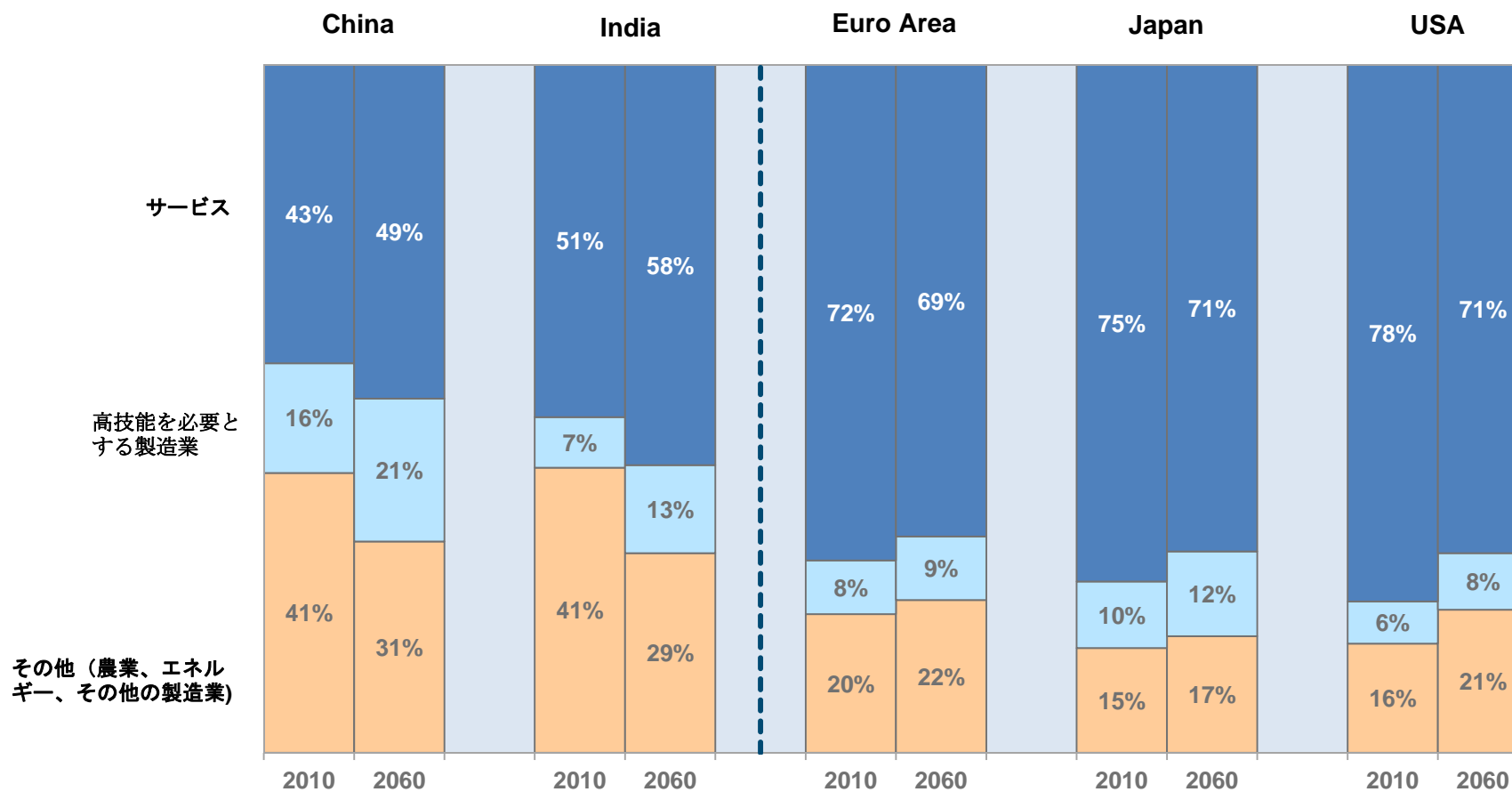


AE = 先進国経済, EME = 新興国経済



新興国経済は より付加価値の高い活動に移行する

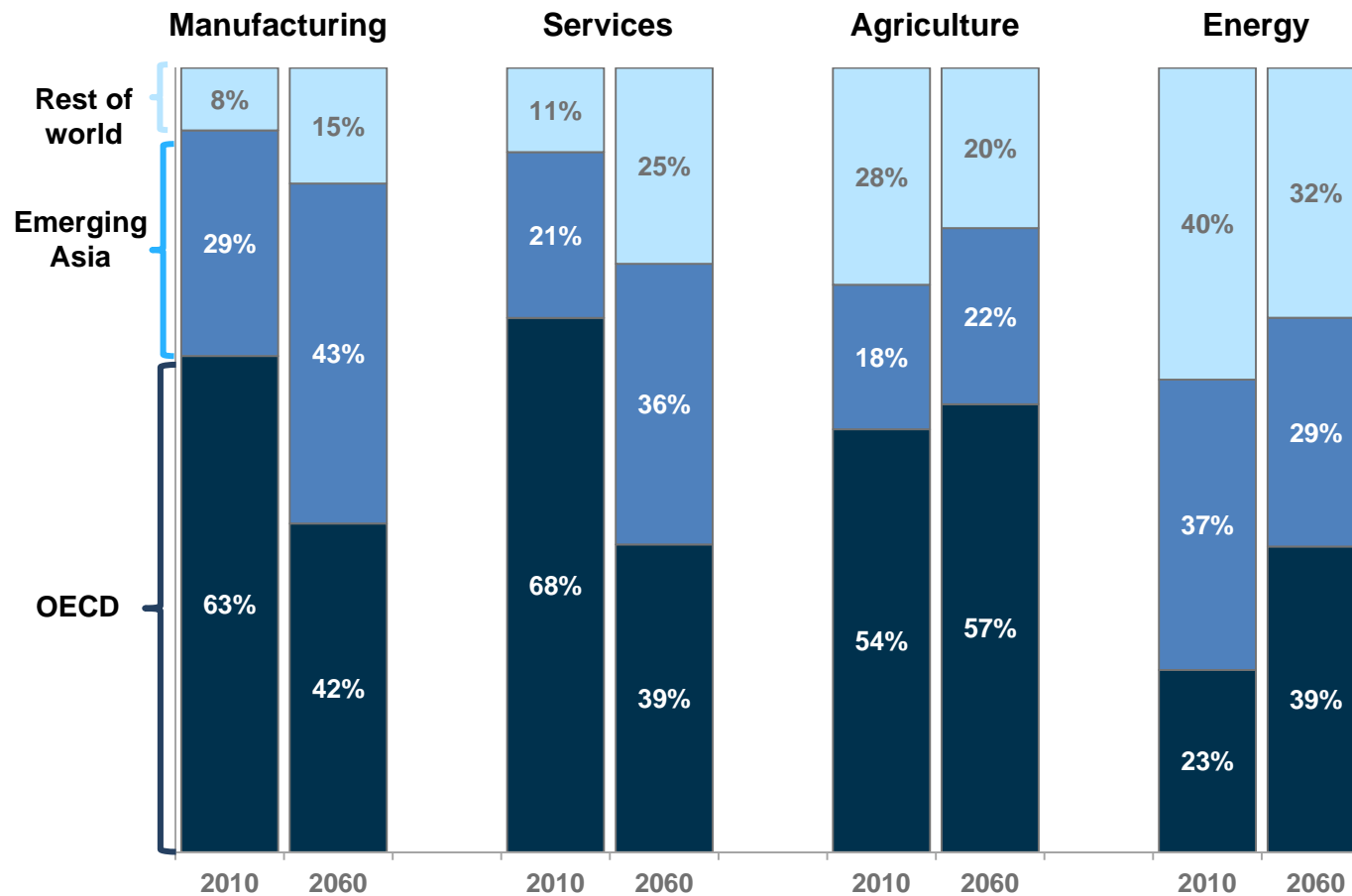
部門別付加価値のシェア





貿易特化は著しく移行する

世界輸出の産業別シェア





就業者数増加は、 もはや成長の主な牽引力とはならない

高齢化が、人口増加による経済成長の機会を
軽減する

イノベーションと生産性の「キャッチアップ」が成長を牽引し続ける

教育と技能の向上が鍵となる



3つの政策チャレンジ

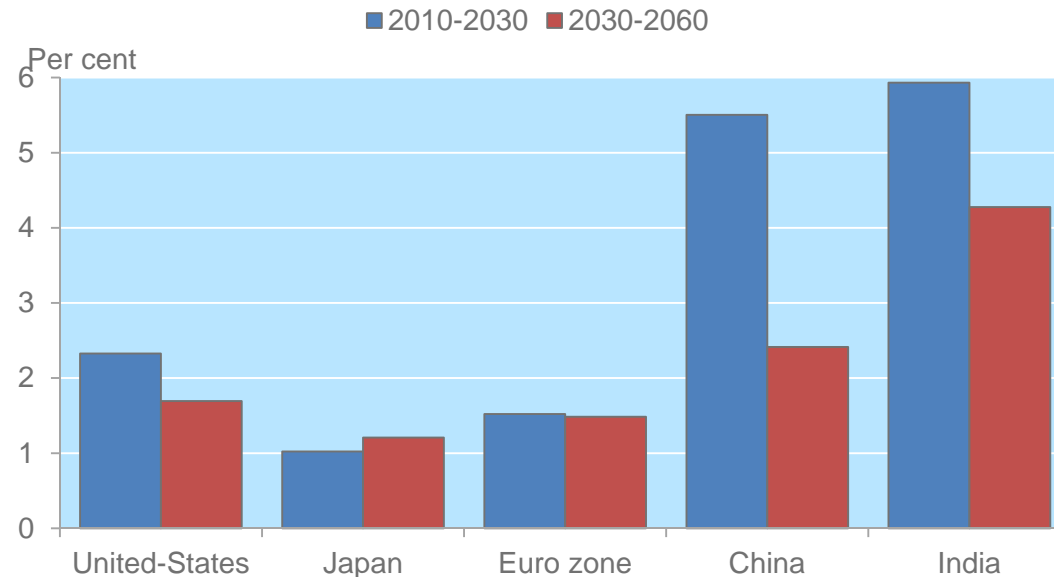
成長の持続

広がる格差

環境保護



1. 経済成長のための課題



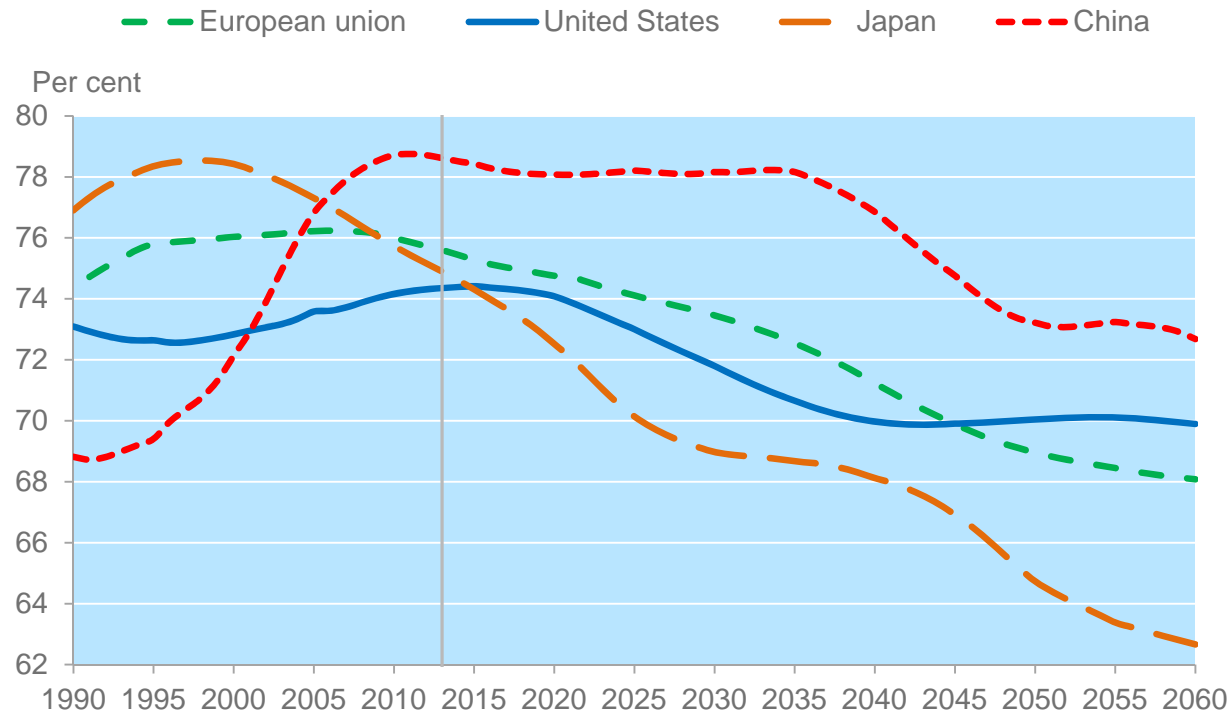
今後の成長を達成するためには堅実な政策が要求される

政策はよりダイナミックな知識基盤型高付加価値経済を支えるべきである



高齢化は成長の持続をより困難にする

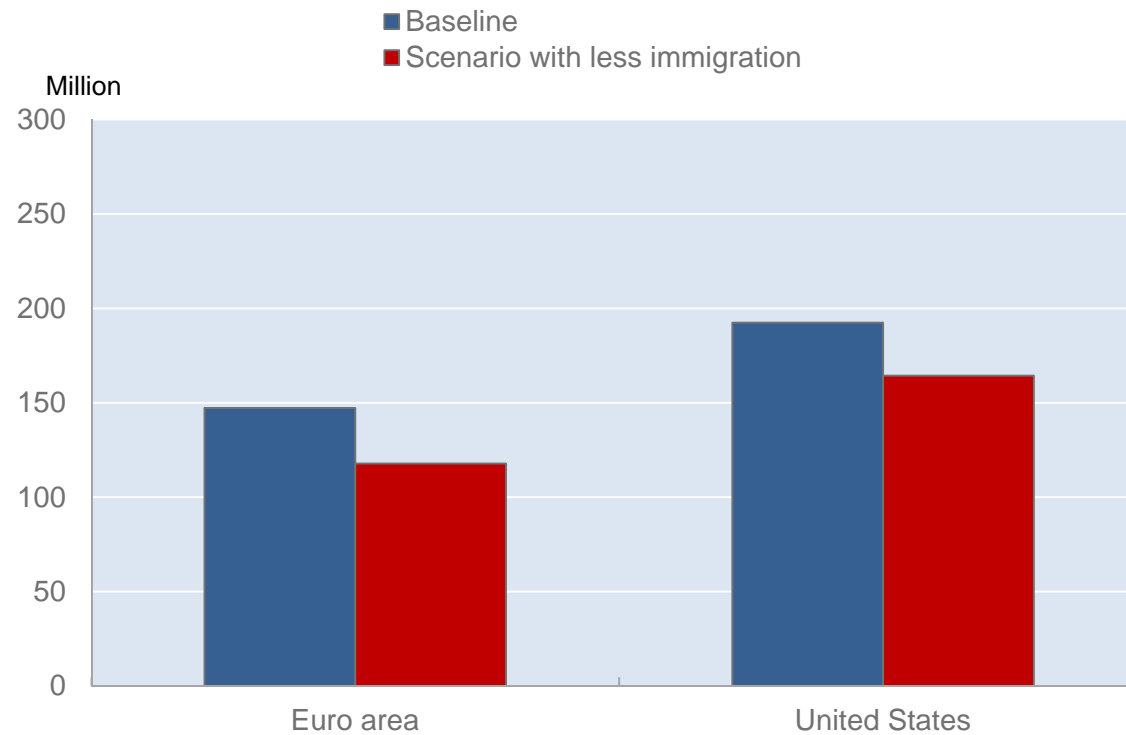
15才～74才の人口の総人口に対する比率





高齢化の影響を緩和するために 移民にたよることも困難になるだろう

2060年の労働人口

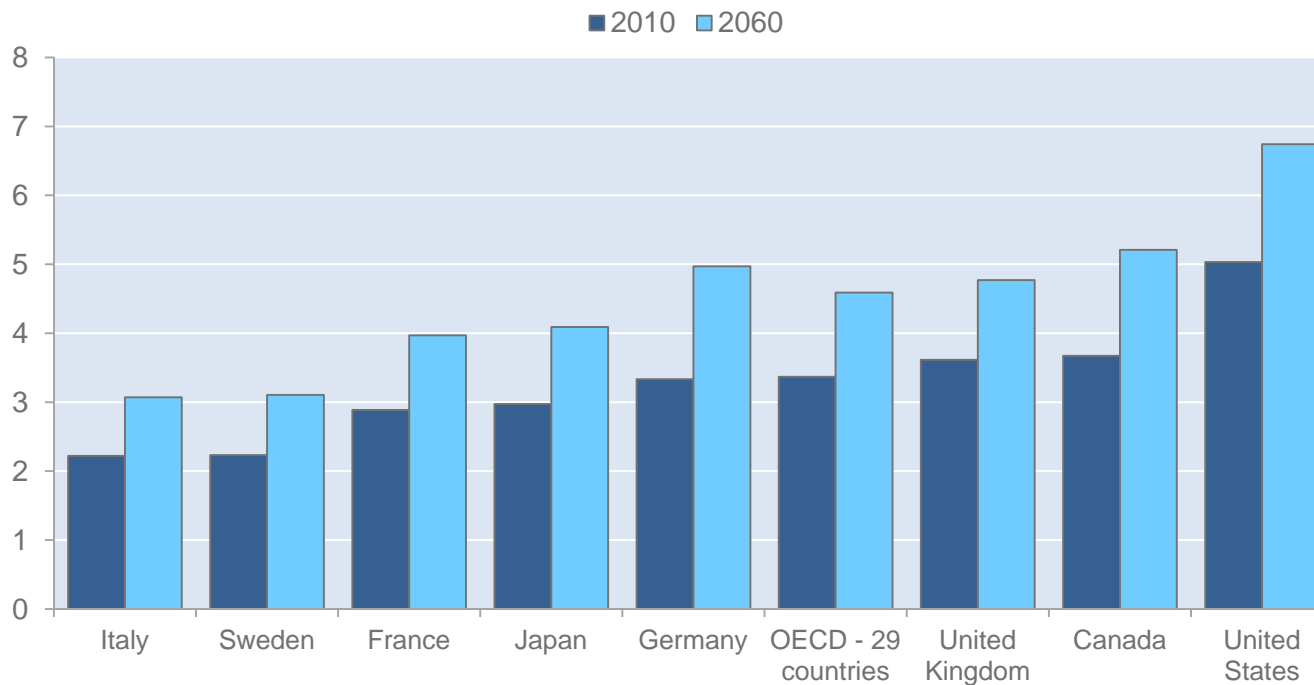


* 所得格差縮小の結果移民が減少するシナリオ



2. 格差に対する課題： 先進国における所得格差拡大

総賃金比率：トップ90%/ボトム10%



高技能労働者の賃金は高まる

先進国における低技能労働者の所得は低減する



経済成長は各国間の所得格差を縮小し、貧困を削減する

しかし、2060年のOECD諸国における所得格差平均は現在の米国に近いレベルになるだろう

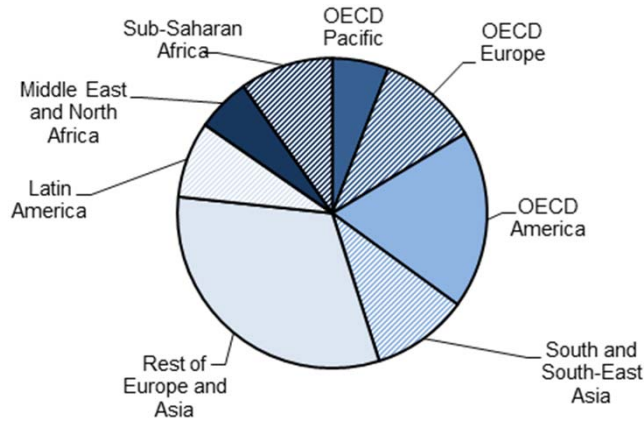
教育・技能・生涯学習への更なる投資が必要である

持続可能な成長のためには、累進性と分配性を重視する政策がより求められる

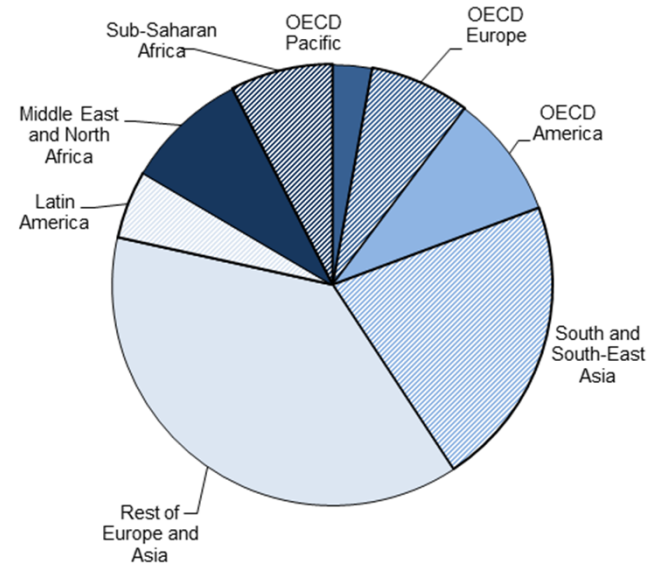


3. 環境に関する課題

CO₂換算、単位100万トン



2010年
487億トン



2060年
995億トン

GDPは今のレベルの4倍になる

資源集約度が下がるとしても、資源への圧迫は膨大になるだろう



政策課題への新しいアプローチ

世界経済の移行に備えた政策が必要である

新しい課題と共に、構造改革の重要性と緊急度が高まる

福祉のあらゆる面における関連性が高まる



「グローバル・パラドックス」

世界経済はより統合し、より緊密な相互協力が必要となる

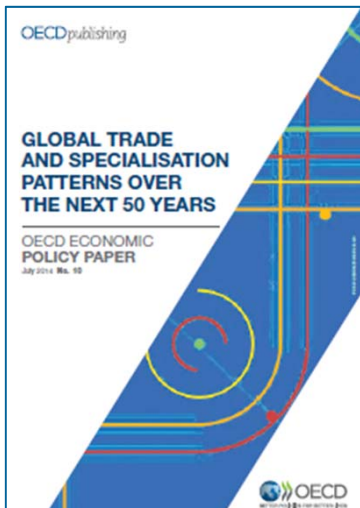
世界は多極化し、相互協力を達成することはより困難になる



より詳しくは以下を参照



[OECD 50年 グローバル シナリオ ウェブサイト](#)



[OECD 経済局 ワーキングペーパーシリーズ](#)



OECD 50年 グローバル シナリオ の枠組み

